

大手自動車メーカーのディーラーセールスマンが異業種分野に挑戦!!

# サンライズ若林(株)

代表取締役 若林 尚之 様

わかばやし なおゆき

- 7 -

新鮮館 (食料品スーパー)

平成28年2月創業  
業種/食料品小売業  
所在地/南相馬市原町区本町1-9  
TEL 0244-26-6880

営業時間/9:00 ~ 18:30  
定休日/日曜日、年始



## 創業のきっかけ

～売る価格は違えども、お客様の「ありがとう」は同じ～

以前は、大手自動車メーカーのディーラーで営業マンとして相双地区を走り回っていた店長の若林さん。全く畑違いともいえる営業の世界からスーパーの経営者に転身するきっかけは、東日本大震災だったという。行く先々で「震災で近所のお店が閉店して、買い物不便になったよ」と訴える高齢者が多いことに気付いたのだ。若林さん自身も、南相馬市に住んでおり以前から高齢化や近隣商店街の閉店が進んでいることは感じていたが、何処か他人事のように捉えていた。だが、この時ばかりは自分の無力さを感じ寂しさが込み上げてきたという。営業マンとして、“物を売る喜び”を学んできたからこそ「自分はこのまま自動車売り続けるべきか。ここで求められている物は何か」と考えるようになったのだ。その時に友人から「スーパーの経営をしてみないか」と予想だにしていなかった話が舞い込んできた。しかし、長年勤めた営業マンとしてのプライドや、顧客との関係性を崩すことへの抵抗、そして、異業種への転身に不安もあかなか返事が出来なかった。自問自答を繰り返す日々が続いたが「自動車売ることも、100円の野菜を売ることも、“売る喜びは同じ”である」と営業時代に学んだ一つの答えに辿り着いたのだ。若林さんは意を決し平成28年2月に、前経営者から事業を継承してサンライズ若林(株)を設立。「新鮮館」として南相馬市にスーパーを開業した。



## 試行錯誤の道中

～全てはおお客様の「おいしい」のために。小規模ゆえの苦悩と喜び～

開業して1年9か月が過ぎ、「まだまだ修行の身です。」と謙虚に話す若林さんであるが、胸中には熱いものを秘めている。「普通の商店では出来ないことをする。それは、お客様に喜んでもらうため」と語る。県内有名精肉店の「メンチカツ」や秋田県名産の“いぶりがっこ”など県内外の逸品を販売する試みに果敢に挑み始めた。「商品のおいしさをしっかりと伝えたい。メンチカツは毎日揚げたてを提供して、いぶりがっこなら新鮮さを保つため切らずに丸ごと1本で販売する」など販売だけに捉われない工夫で人気を博している。また、大手スーパーからの大量発注を期待する販売元からは、新鮮館のような小規模スーパーは相手にしてもらえないことが多い苦悩も語る。幾度とない粘り強い交渉で販売に漕ぎ着け店頭で陳列された時の喜びもさることながら、一番の喜びは「お客様のおいしかったよ」の声を聞いた時である。



## 当店一押し商品!!

～店内調理であたたか惣菜!! 慣れ親しんだ味を作り続ける～

当店の人気商品は、人参、椎茸、などの野菜や蒟蒻がたっぷり入った昔ながらの甘じょっぱい手作りの“お煮しめ”である。“できたて惣菜”をコンセプトに豊富な品揃えと昔ながらの慣れ親しんだ味で、お客様の胃袋を掴んでいる。

手作りならではの苦勞もあり、「今日の味付けは濃かった」などと助言を受けることもあるため毎日の味付けには気を配っているという。若林さんは「常にお客様に答えはありますから」としっかりと応える姿勢で日々邁進しているのだ。

“売る喜び”を忘れずにお客様とともに歩み始めた若林さん。南相馬市に復興の光を灯すため、地元スーパーとしての挑戦は続く。



■当店人気No.1の“お煮しめ”とできたて惣菜